

# Aあ Nな ANん

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社  
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287  
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents	
P1	表紙 遊歩道
P2、3	令和7年度 成人式 特集
P4	帯川の話 (西尾実著)
P5	あの人この人
P6	あなんNEWS、お知らせ、編集後記



今年もまた夏の恒例行事である「道作り」がありました。毎年7月最後の休日に、地域総出で草刈りに汗を流します。しかし、年々厳しくなる暑さとともに草の勢いは増す一方で、担い手は減少し、里山の維持は大きな課題となっています。役場の方々が補ってくれるおかげで何とか保たれているものの、使われなくなった道は静かに草木に覆われつつあります。

子どもの頃、夏休みは川遊びや虫取りに明け暮れました。その思い出の場所が、大人たちの地道な作業によって守られていたとは、当時は知りませんでした。今になって、あの日の楽しかった記憶は、誰かの頑張りのおかげだと深く感謝の念が湧いてきます。

先人たちが繋いできたこの里山を、今度は私たちが次の世代に繋いでいく番です。今の子どもたちにも、私たちのように、この場所でたくさん楽しい思い出を作ってほしい。そのために、私も微力ながら力になりたい。そんな思いで、今年も「道作り」に参加しました。

# 成人式特集

## 令和7年度 成人者名簿

### 富草地区

木下 遥海  
小林 昌幸  
新井 美咲  
佐々木 麻緒

### 大下条地区

飯島 紫音  
熊谷 想嵐  
松下 穂乃伽  
小林 和哉  
松葉 劍聖  
林 空希  
白上 珠  
山下 綾花  
長川 侑雅  
原 美瑞紀  
石井 爽楽

### 新野地区

勝又 颯河  
小林 未来翔  
南井 ほのか  
松下 育実  
熊谷 七海  
松澤 今日子  
山口 隼人  
坂巻 華  
服部 眞都  
黒川 史直  
三浦 歩  
伊藤 一葉  
井上 自流  
稲垣 秀徳  
富田 朝日  
田村 優季  
斉藤 華恋  
金田 拓磨  
山田 安耶  
天龍村  
竹内 涼夏

### 和合地区

計 38名

## 実行委員長あいさつ

小林 昌幸さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に對し、このような式典を開催していただき、誠にありがとうございます。勝野町長をはじめ、来賓の方々、ご出席いただきました皆様に、新成人一同を代表して御礼申し上げます。こうして無事に成人式を迎えることができましたのも、沢山の愛情を注ぎ育ててくれた家族や、学校生活を優しく時には厳しくご指導してくれた先生方、幼い頃から温かく見守ってくれた地域の皆様のおかげであることを改めて深く感謝申し上げます。

私達の中には大学や専門学校で日々勉強し、自己実現のために努力している人や就職し仕事に毎日奮闘している人がいます。立場はそれぞれですが、一人一人が自分の行動に責任を持ち、社会人として様々なことに積極的に関わ

り、社会に貢献できるような、何事も前向きに挑戦していきたいと思えます。今日、この日に私たちは成人式を迎えました。あつという間に20年間を生きてきましたが、まだまだ人生は先の方が長いのです。生きていけばそれぞれ壁が立ちはだかるでしょう。しかし、人間は決して一人では生きていきません。そして、私たちの周りの家族や友達とは絶対に味方です。頼ることは悪いことではありません。私たちは頼りつつ、自分の力でその壁を乗り越えて、人としての成長にも繋げていくことができると信じています。これからも仲間と互いに助け合い、今後続いていく人生を明るい方へ一歩一歩着実に歩み続けていきます。

最後になりますが、この成人式の開催にご尽力いただきました町の職員の皆様、ならびに関係者の皆様、誠にありがとうございます。今日という日を胸に刻み、感謝の気持ちを忘れず、新成人として自覚ある行動に努めていきたいと思っております。まだまだ未熟者の私たちに、より一層のご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

簡単ではございますが、これをもちまして成人者代表の挨拶とさせていただきます。

令和七年八月十五日

成人式実行委員長 小林 昌幸

### 式典



### 平和殿 参拝



成人式当日、終戦記念日ということで成人式実行委員会の成人者が平和殿を参拝をして、平和の鐘を鳴らしました。

## 当日の様子

### 記念公演会



### 交流会



## 成人者 アンケート

成人式対象者に事前にアンケートを送り、阿南町についてお聞きしました。

成人対象者	38人
アンケート回答者	21人
回収率	55%

①現在、どこに住んでいますか？

阿南町内	6人
長野県内	3人
長野県外	12人

②あなたは将来、阿南町に住みたいと思いますか？

住みたい	12人
住みたくない	9人

③これからの阿南町に必要なものは何だと思えますか？

#### ハード面

・こどもが遊びやすい場所

・公園

・商業施設

・若者が集れる施設・スペース

#### ソフト面

・働く場所

・町を象徴するもの

(パンチ力のあるもの)

・交通の利便性

・若者が住みたいと思っような街づくり

・若者への支援

・住民の数

アンケートを通して、率直な意見を聞くことができました。

式典・交流会・記念公演につきましては後日、阿南町ケーブルテレビにて放映いたします。



著作 西尾 実

おびか

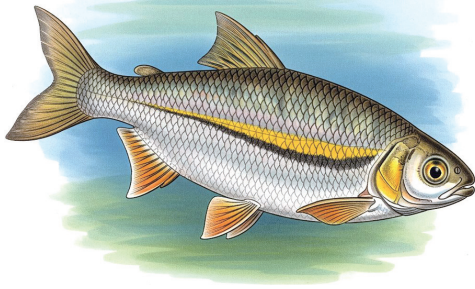
帯川の話

「帯川の鮎」後編

わたしは七、八歳のころ、この鮎掬いの淵の下流に立って、鮎掬いが次の淵の行ったあとの小魚を掬おうと待っていた。わたしの立っていた足元には、小川の水が少し流れ込んでいたためでもあろう、一匹の大きな鮎がふらふらと近づいてきた。子供ながら鮎を掬うには鼻先の方から掬ってはいけない、必ず尻尾の方からそっと掬い上げなくてはということばが頭に閃いた。その通り尾の方からゆっくり掬ったところ、見事なほど大きな鮎がわたしのくさでの網の中に掬いあげられた。淵の中の鮎ばかりみつめていた人たちも、驚いてわたしのくさでに注目する。医者の大石庄太郎小父は、例によって

「馬鹿野郎！」と叫んでおいて、「今日の金鶏勲章を射止めやがった。」など嘸し立てられて、その

鮎をわたしの小さな籠に入れた。その日のことはそれだけしか思い出せないが、何時もだと、鮎掬いの人たちは次々と鮎を追って、淵から淵へ下り、女の人たちや子供はその後を追うようにあまご・赤魚・かじかななどを掬ったりし、手づかんだりして、水の浅くなつた所を行ったり来たりして探し楽しむ。その途中とところどころに築をかけて、水が乏しくなってくるのを不安に思っ下ってくる掬い余りの魚を集め取る。それはその日の築番に決められた人たちの手で各戸に同じように分けられる。それが終ると、その日のうちに大



川を塞ぎ止めたむしろや、木の枝や材木が、運びだされて元の大川になる。これはその日のうちに取り払わないと、瀬次場の川や周囲の土地に変動を生ずるからである。そろそろ秋風が立って、下り鮎も終りに近づくと、八戸の共同で落合の窯の淵の川下に大きな築をかける。窯の淵の川下の流れをだいたい川の中央に集めるような設備をして、そこに流れを集め、滝のような工合にして水を落とし、その全面にわたって青竹を丸ごと並べ編んだ大築をかけ、下ってきた鮎の群が、その築の上のこされて跳ねまわっているところを、当番が毎日代る代る番をしていて、拾って籠に入れ、番小屋の前の水溜りに浸しておくのである。

で、築番は油断ができない。わたしは八、九歳のころ、築番に当った父に連れられて、夕方から朝まで行ったことがある。父に連れられて、落合の前あたりのちよつとした丘——火葬場のない帯川では、伝染病などで死ぬと、この丘を臨時火葬場として、薪を積んだ上にその死体をのせ、薪に火をつけて一晩中かかって焼くというはなしなど伝わっていた——の下を通過して、落合川を下にのぞむ山腹の細い道を窯の淵の上まで行って、番小屋に弁当などを放りこんでおいて、早速丸青竹を並べた築の上の上とみると、その周囲は深い岩山の谷間で、高い断崖絶壁の上を県道が通っているけれども、もうそこを通る人もない。深閑とした溪谷の底である。空を見上げると、落葉が二、三点川の上に散ってくる。どうどうという瀬音で、父の声も聞こえない。わたしは思いもよらなかった深い谷底の流れの真只中に立っている淋しさ、というよりも恐ろしさが、ひしひしと身に迫ってきたのを覚えている。

あの人この人



今回、ご縁があり取材をしたのは、5人の有志が集まり活動をしている「富草すわっぐ」の方々！メンバー全員が、富草 雲雀沢地区でお住まいです。活動現場にお訪ねし作製風景などを取材してまいりました！

(取材に際し、活動場所を阿南町化石展示館のフリースペースを利用して活動を行っていただきました。)

取材当日、化石展示館の扉をあけるとふわっと草花のいい香りが館内を漂っていました。

それと同時に、富草スワッグの方々の明るい和気あいあいとした会話が聞こえてきました。和やかな雰囲気取材を行いました。

はじめに「スワッグ」とは何だろうということ、「富草すわっぐ発起人」の佐々木淳子さんがスワッグについて教えて下さいました。



新井功子さん

佐々木淳子さん

スワッグとはドイツ語で、ヨーロッパでは、古くから魔除けや幸福を呼ぶために、ハーブなどを束ねて家に吊るす習慣があるとのこと。

「富草すわっぐ」の材料はメンバーのお宅で育てている草花を主として新野のラベン

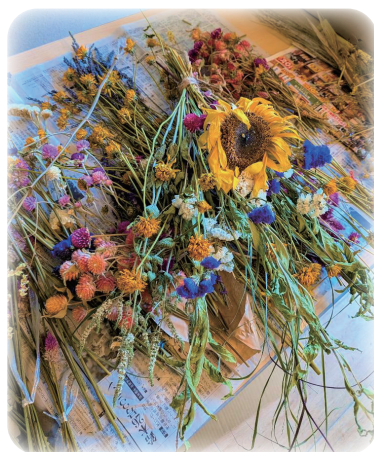
ダー・平石農場のひまわりなど時間をかけて乾燥させて作っています。

「富草スワッグ」は、今年6月から本格活動をしている新しいグループ。佐々木さんは「富草すわっぐ」の活動を通しSNSやネット販売など本格的に始めたとのこと。有志メンバー5人の平均年齢は70歳！とても元気な方々が送る、丹精こめられたスワッグ。メンバー最年長の新井功子さんは、「自分より若い仲間



たちとこういう活動ができるから元気でいられる」とのこと！

富の草があふれる富草地区から生まれた富草すわっぐの活動に今後も注目！



Instagram QRコード

販売ショップは、Instagramよりアクセスいただけます。スワッグのほかにも、ハーブティーやおい袋なども造っています。

# あなんNEWS

## わんぱく相撲全国大会出場!

6月22日に開催された「わんぱく相撲長野県大会」で和合小学校の女子2名が優勝し、全国大会出場が決まりました。4年生 渡部叶愛さんと5年生 野地葉結さんです。

県大会には和合小から3人出場して、4年生女子の部で横綱(二位)と大関(二位)、5年生女子の部で横綱(一位)という好成績でした。

松尾相撲クラブに通って練習しているそうです。

お二人に抱負を聞きました。

葉結さんは昨年も県大会で優勝し全国大会は2回目、「去年は1回戦負けで、全国の厳しさを知った。今年は2・3回戦まで勝ちたい」。

叶愛さんは初出場、「一位になりたい」。

### 女子全国

大会は9月21日(日)に青森県八戸市で開催されます。健闘を祈ります。



## 北信越中学校バドミントン大会 2025全中予選第5位入賞!

## 第44回全日本ジュニア バドミントン大会長野県予選会 (女子ダブルス)第3位入賞!

阿南第一中学校 野上美都さん(松川町ジュニア所属)が第64

回長野県中学校総合体育大会においてバドミントン女子ダブルス2位となり、8月7日(木)に福井県勝山市体育館ジオアリーナで開催された北信越中学校バドミントン大会へ出場し5位入賞をしました!

同月、16日・17日に長野運動公園総合運動場総合体育館にて、第44回全日本ジュニアバドミントン大会が開催され、高校生が出場するなか第3位に入賞をしました!



## おしらせ

10月19日(日)

主催 愛知・長野県境域開発協議会

### 第42回愛知・長野

### 県境域住民文化交流会

- ◆会場 豊根村
- ◆内容 県境5町村の文化団体発表
- ◆問合せ 阿南町教育委員会

(22)2270

10月25日(土)

主催 阿南町公民館

### 阿南町ソフトバレー大会

- ◆会場 阿南町民体育館
- ◆募集対象 近隣町村チーム
- ◆問合せ 阿南町教育委員会

(22)2270

11月1日(土)

主催 阿南町公民館

### 長野県立歴史館

### 出前講座!

詳細につきましては、

10月組内回覧にて周知します。

### 公民館なんでも 掲示板



## 編集後記

### 八月の思い出

私の子どもの頃は、今日のようにゲームなどが無く、夏になると外で虫取りや、水遊びなどしました。暑い日でも、30度少し超えたくらいでした。近くにプールがあったので、友達と行っていました。水は山からくるので冷たかった思い出があります。浅い方が水深1.5mくらいあったと思います。小学校の授業でも使った覚えがあります。夏休みは、上級生から低学年まで一緒に遊び、上級生に抱えられ深い方へ投げ込まれたりしてしました。早稲田地区にも子どもが30人〜40人ぐらいいました。帰りに、近くでアイスクャンデーを買って食べながら帰った記憶があります。当時10円だったと思います。

お盆になると、夜は盆踊りをしました。早稲田の中心あたりの道に、輪になって踊ります。当時はお店が何件もあり賑やかでした。そんな思い出がよみがえります。

阿南町公民館長 伊藤 幸一